

# 観光振興アクションプラン年次報告 平成30年度実績に係る意見書 推進委員とりまとめ

## 評価基準

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的達成のための事業が、十分実施されており、改善の必要性がない。</li> <li>・非常に効果が高く、継続することに何の問題もない事業である。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的達成のための事業が、十分実施されており、改善の必要性が低い。</li> <li>・効果が高く、継続すべき事業である。</li> </ul>
3 標準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的達成のための事業が、実施されている。</li> <li>・効果があり、継続した方が良い事業である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的達成のための事業が不十分であり、拡大が必要である。</li> <li>・効果を高めるための工夫が必要な事業である。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的達成のため、事業の再検討が必要である。</li> <li>・効果があまり見込めないため、整理統合・規模縮小・廃止等の検討が必要である。</li> </ul>

番号	氏名	備考
1	小川 加苗	富里市商工会
2	秋元 和子	富里市農業協同組合
3	寒郡 茂樹	富里市商工会
4	根本 実	富里市農業協同組合
5	飯寄 富雄	有限会社東洋スチール
6	吉田 武重	公募
7	原 幸司	富里市観光協会
8	飛ヶ谷祐示子	まちづくりコーディネーター
9	高森 茂人	千葉県商工労働部経済政策課
10	布川 好夫	富里市議会 総務建設常任委員会
11	中山 健	横浜市立大学国際総合科学部国際 マネジメント研究科

## 基本戦略1 観光プロモーション活動の強化

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
(1) 観光プロモーション活動の充実						
①物産展などを通じた富里の魅力発信の充実	3.36	1	3	6	1	
②ロケ地を活用した新たな観光PRの充実	3.82	2	5	4		
③市マスコットキャラクターの活用	3.27	1	2	7	1	
(2) 情報発信の充実・工夫						
①観光情報パンフレットなどによる情報発信の工夫・充実	3.00		2	7	2	
②SNSを活用した情報発信の充実	3.09		3	6	2	

### 基本戦略1 観光プロモーション活動の強化への意見や改善策

- (1) ①プロモーション活動については、かなりの回数を、かつ、市・県外を含め、広域に実施している。
- (1) ①市外でのイベント11件(21日)があり十分な件数を実施している。成田空港から東京ドームでのイベントまで幅広く行われている。今後もさらに推進されることを期待したい。
- (1) ①物産展などを通じた当市の魅力発信は、H30年の実施状況からも相当の努力の跡が感じられる。
- (1) ①多くのイベントに担当課のご苦勞で参加されております。
- (1) ①各地でのPR活動は市職員やJAの皆様のご尽力により知名度は向上していると思われます。
- (1) ①今後共、都内はじめ県内外の各種イベントへ「打って出る」体制で情報発信を望む。
- (1) ①安芸市、雫石町、台東区との連携を継続することが知名度の向上につながる可能性は高いと思う。
- (1) ①本事業の目的は、観光客の誘致なので、知名度の向上の次には、この目的を達成する仕組みを塾講する必要があると考えます。
- (1) ①観光協会等で市民ボランティアを集いイベントで富里の魅力発信をしてもらう。特にスイカPRでは6月スイカ祭り等で、スイカクイーンを決定しゆるキャラと共に活動をお願いしてもらう
- (1) ①単独の物産販売にとどまっている。商談ができる物産参加とすると次につながるのではないかと。加工品だけではなく、野菜も含めた富里市のPRとなる物産とする。(産品リーフレットも加工品だけではなく、野菜、肉も入れたものにするとうい)
- (1) ①物産展の趣旨にもよるので一概には言えないが、費用対効果をよく計算した上で出展していただきたい。
- (1) ②市の施設以外の実績も数多くの実績がある。
- (1) ②ロケでの採用は重要なPR戦略であり、映画2本、ドラマ15本、市民エキストラ出演268人などの実績がある。
- (1) ②観光振興アクションプランの事業内容に記述された事業に特に異論なし。
- (1) ②フィルムコミッション事業は、大変活発で有効的であると考えます。
- (1) ②ロケ撮影誘致推進方針やロケーション撮影活動実施方針の策定や各所の使用料の条例改正が行われ、ソフト面の整備が整いました。
- (1) ②ロケ弁当に至るまで一定の経済効果があるものと認識しています。
- (1) ②引き続き市のPRに資する取組として、継続・充実を図ることが望まれる。
- (1) ②積極的事業展開を望む。
- (1) ②今後も継続できるよう、人材も含めて育成していただきたい。
- (1) ②人的体制の強化が必要と考えます。観光協会の充実が必要。
- (1) ②今後は富里ならではの地の利を生かしたロケ地の発掘と効率的なPRならびに、市民エキストラが集まる仕組みづくりが必要であると思われます。

また、この仕組みに商店会との連携も効果的ではあると思われます。

(1) ③県内外での多くのイベントに活用されており、市のPRに繋がる取組として、引き続き、継続していくことが望まれる。

(1) ③市内での知名度は抜群に高いと認識しています。

(1) ③可能な限り市外での認知度向上ができることより良いと思われま。

(1) ③ネーミング「とみちゃん」はあまりに平凡すぎる。自分は熊本出身で「くまもん」というネームには絶賛しているところ。もう少し市内外から公募して特色のあるネーミングにしてみたいかがか（スタイルとネーミングの一新）。「とみちゃんは既に公募から決定したものであるならご容赦」

(1) ③とみちゃんの活用促進、画像使用を今後さらに進めていただくことを期待したい。

(1) ③観光協会に、マスコットキャラクター運営委員会を作り、スケジュールの管理等行う。ぬいぐるみに入って頂く市民ボランティアを募集して活動の幅を広げる。

(1) ③とみちゃんキャラクターを統一するように研修もしたらどうか。入る人により、しぐさが変わる。

(1) ③今後も活用すべきである。

(2) ①観光パンフレットの配架やポスターなどの掲示、ホームページでの情報発信など、目的や事業内容に沿った取組が行われている。また、PR動画をYouTubeで配信するなど、幅広いターゲットにも目に触れてもらう工夫が講じられている。

(2) ①今後ともお願いいたします。

(2) ①観光協会で話題性のある観光情報パンフレットなどによる情報発信として、スポンサー等の景品付きパンフレットの充実

(2) ①他地域と比較すると見劣りする。手作りではなく、ある程度お金をかけるべきである。種類も複数揃える（情報誌、マップなど目的別）

(2) ①観光協会や各種市民団体、さらには一般市民も連携し、より多くの人や団体が富里市の情報を発信できる仕組みづくりが実現すると良いと思われま。そのためには市と観光協会の連携が重要であると考えま。

(2) ②フェイスブックやインスタグラムなどSNSを活用した情報発信がなされており、目的や事業内容に沿った取組が行われている。

(2) ②YouTube等で情報を発信している点は評価したい。

(2) ②今後ともよろしくお願いま。

(2) ②Facebook,インスタグラムなどへの発信や海外へ向けた外国語での発信に今後期待したい。

(2) ②特に、中国語、韓国語、英語などでも発信していただきたいと思いま。

(2) ②フェイスブックやインスタグラムを活用し、写真、動画等、多面的な情報発信は強力に推進していくことが望ましい。

(2) ②サポートセンターとして、インスタグラムの投稿を増やし、富里の魅力を発信していきたい

(2) ②観光協会でもSNSの充実を図る。HPの更新も遅滞状況では？

(2) ②YouTubeをやっている、そこまで誘引する工夫が必要。

基本戦略2 新たな観光資源の創出		推進委員 平均値	5	4	3	2	1
(1) 観光イベントの充実							
	①観光イベントの開催	3.09	1		9	1	
	②市民主体で実施するイベントなどへの支援	3.00		2	7	2	
(2) 富里ブランドの創造							
	①商品の開発・販売	2.64		1	5	5	
	②ふるさと産品推奨品の充実	2.64		1	5	5	
(3) インバウンド向け資源の創出・ブラッシュアップ							
	①旧岩崎家末廣別邸及び隣接地の活用	2.45		1	5	3	2
	②富里観光ルートの検討	2.64		1	5	5	

### 基本戦略2 新たな観光資源の創出への意見や改善策

- (1) ①年間を通じて各種イベントが開催されており、すいかまつりやスイカロードレースなどでは、多くの来場者が市を訪れているなど、集客力のある魅力あるイベントが開催されている。
- (1) ①「すいか」の全国での知名度は高いため、すいかまつり、ロードレースには各々1万5千人、3万人の参加があり、大変な人気であることがわかる。今後とも他のイベント含め推進していただきたい。
- (1) ①イベント自体の盛り上がりとい意味では成功していると思われます。
- (1) ①富里へ訪れてもらう機会につなげるという意味では、課題が多いと思われます。またイベント実施者への負担が集中しており、継続的な開催に向けては将来的に課題が生ずることが懸念されます。
- (1) ①各種イベントを再検証して、効果的に開催していただけるようお願いいたします。
- (1) ①道路整備要す
- (1) ①当市のイベントと言えば、スイカロードレース、すいかまつり、今後もこれらを核として岩崎家ゆかりの地広域連携の仕組みづくりの早期完成を望む
- (1) ①既存のイベントの他に新たなイベントが必要、年間を通してイベント作り。年4回の季節のウオーキング大会や馬車が走る事の出来るルートを作る。三菱グループの岩崎久彌氏のゆかりの地を、新人研修等で訪れてもらう。年間を通して富里へ訪れる事の出来る、観光拠点が必要
- (1) ①市民に「馬のふるさと」を認知してもらう機会をつくるのも良い。牧場、乗馬クラブで人を呼び込むことを考えては。
- (1) ①富里市外や外国人観光客向けのイベントが観光イベントだと思いますが、開催実績のある行事に市民向けのイベントも見受けられますので、観光客向けに発信するイベントなのか、市民向けなのかを棲み分けした方が良いのではと感じます。(同じ土俵で考えると、目的が曖昧になるように思います)
- (1) ②市民主体の様々なイベントに対し、後援や周知などの協力・支援が図られている。
- (1) ②市民主体事業への支援は重要であると考えておりますが、市民が行政の支援ありきで事業を実施する雰囲気を感じる事が散見されます。事業の目的を明確化し支援事業の精査や助言は必要であると思われます。
- (1) ②市民主体のイベントのサポートも積極的に行うべきであると感じます。
- (1) ②観光協会等のホームページの更新作業の支援。体験型観光事業の支援。文化・教育イベントにも新たな観光資源の充実
- (1) ②イベントの開催、支援は良いことだと思いますが、市民向けのイベントが観光のくくりになるのか、観光の観点からイベントをとらえるものなのか疑問に思います。
- (2) ①良い取り組みだと考えます。
- (2) ①特に商品の販売については、商工会や商店会との連携を強化することが望ましいと思われます。商品開発に関しては、富里の歴史に紐づいたものであることが重要であり、ストーリーの無い商品は定着しない可能性が高いと思われます。



- (2) ①当市の特産品でスイカ、人参など有名だが、これらの原材料をベースにしたジュースやお菓子類の商品化は出来ないものか。現況はどうか。情報を共有したい
- (2) ①富里高校と連携して商品開発を行ってみてはどうか（3年生の選択授業でフードデザインがあると聞いている）。高校生が開発に携わることで、卒業後も富里に愛着を持ってもらえるのではないか。また、大人にはない発想で今までにない商品が生まれるのではないか。パッケージの題字やイラストについても高校生の意見を取り入れてみてはどうか。販売している場所を知らないという人が意外と多い。販売場所の周知をうまくできると良いのではないか
- (2) ①広く市民にもアイデアを募り開発を図る。
- (2) ①地域資源であるスイカを使った商品開発がなされているものの、認知度がまだ低いので、今後、PRを進めることにより販売促進を図る必要がある。
- (2) ①富里ブランドとなる様々な商品開発を事業者の方々に挑戦していただきたい。その中から、本物の「富里ブランド」が切磋琢磨する中で生まれてくることは間違いない。今後もし是非推進していただきたい。
- (2) ①道の駅ができるといいと思う
- (2) ①加工品が少ないので、今後に期待する。
- (2) ①市内でも商品を認知してもらうことが必要だと思います。
- (2) ②地域資源であるスイカを使った商品開発がなされ、推奨品にも登録がされており、また、新たな商品も検討されるなど、目的や事業内容に沿った取組が行われている。
- (2) ②富里の農産品を使用したスイーツ開発などの食品開発は地域特性を考えれば適している。今後も商品開発の実施とその支援を続けることに大いに期待したい。
- (2) ②さらなる充実を図るべきと考えます。アイテムを増やしましょう。
- (2) ②ふるさと産品推奨品のネーミングについて、「富里市ブランド」認定品に変更し差別化しイメージアップを図る。
- (2) ②推奨品の種類が少ないので、今後に期待する。
- (2) ②先行的に売れる産品を選定し、市内事業者等が「富里市ふるさと産品」を生産販売したいという動機づけを行なうことが有効であると考えます。
- (3) ①末廣別邸を観光資源としての位置付けを明確にしていかなければ、維持管理に必要なランニングコストをうむ施策も展開できないのではないか。
- (3) ①旧岩崎別邸及び隣接地の活用は一刻も早く一般公開し、都市公園としての整備が急がれる。特に岩崎家がどんな理由からこの富里の地に居をかまえるようになったのか。歴史的探究に興味があわく。
- (3) ①まずは、一般公開を目指す。隣接地の整備を民間に
- (3) ①旧岩崎家別邸等の観光拠点化に向け、まずは地元浸透させる取組が数多く実施しているものと思われるが、今後、インバウンド向けの観光資源としていくためには、さらに周知・PRをしていく範囲・対象を広げていくことが必要になると思われる。
- (3) ①貴重な遺産である岩崎家別邸の整備とその有効活用は重要であるが、どのようにそれを実現すべきか、他の連携市町、地元の高校や市民の知恵も活用しながら考えていくことが大切であろう。
- (3) ①費用対効果を含め再考が必要であると思われます。
- (3) ②観光ルートの創出に向け、モニターツアーを実施するなど、目的・事業内容に沿った取組が行われている。成田空港利用者向けのトランジットツアーについては、災害により実施に至っていないとのことであり、今後の実施が期待される。
- (3) ②成田空港利用者向けと市外からの来訪者向けなど、多様な来訪者の取り組みを想定したルートが考えられる。試行ルートを「たたき台」として、更なるスポットとルートの拡充化を期待したい。
- (3) ②成田空港からアクセスとして民間ホテルからの、観光ルートや成田駅からの観光ルート（バスターミナル経由）で検討。3時間、6時間コース等
- (3) ②日本人目線だけでなく、旅行代理店、地元在住外国人、地元の高校などと連携を図って、適切な観光ルートの開拓や提案を募ることが重要であろう。
- (3) ②NAAトランジットツアーの実現に向けて取組みを進めてほしい。サイクリングコースの整備を希望する。
- (3) ②観光ルートよりも、インバウンドを前提とした富里の飲食や商店などに気軽に立ち寄れる仕掛けが必要だと感じる。
- (3) ②現実的に富里市内のみで観光を完結することは、現在のところ不可能であると思われます。成田空港な近隣市町との連携において観光ルートを検討する必要があると考えております。

### 基本戦略3 広域連携の推進

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
(1) 県・北総地域・成田空港周辺自治体との連携の推進						
①観光推進を目的とした各種協議会などへの参加	2.82		1	7	3	
②成田空港圏自治体連絡協議会への参加	2.82		2	5	4	
(2) 旧岩崎家末廣別邸を生かした連携の促進						
①岩崎家ゆかりの地広域連携の仕組みづくり	3.09	1	2	5	3	

### 基本戦略3 広域連携の推進への意見や改善策

- (1) ①事業内容として、各種協議会他、積極的参加が感じ取れる。
- (1) ①成田空港のイベントやプロモーション協議会などへの参加により、市のPRや情報交換をするという目的・事業内容に沿った取組が行われている。
- (1) ①更に当市の魅力向上への情報発信の充実を望む。
- (1) ①ちばプロモーション協議会などのPR機会を活用し、市のパンフレットを積極的に日本各地で配布するようにすべき
- (1) ①広域連携には積極的に参加すべきではないか。
- (1) ①連携は重要であると思われます。
- (1) ②特に奇策なるものがあるわけではないが、現在空港圏と取り組んでいる各種協議会への参加を積極的に参加していくことが肝心
- (1) ②積極的に
- (1) ②成田空港周辺自治体の参加する協議会に参加するという目的には合致しており、広域連携の推進は図られていると思うが、事業内容にある成田空港圏の振興につながる具体的な取組が（資料からは）確認できないため、今後の取組が期待される。
- (1) ②成田空港圏自治体連絡協議会への参加を通して、トランジットツアーの検討、観光ルートの開拓などの検討を協議、調整することは重要である。
- (1) ②積極的に参加すべきである。
- (2) ①岩崎家ゆかりの地自治体（安芸市、雫石町、台東区、富里市）が一体化して、三菱グループへの取り組みを共同でアタックしていく。例えば、「ゆかりの地」と「三菱グループ」各社が対等に商品の開発、販売等の相互支援策を取っていく。例えば、麒麟ビールのビール、三菱自動車の車、東京海上の損保、三菱地所の土地、住宅、明治安田生命の生保、他数十社との交流、物流を図る
- (2) ①後発的な富里市は、他自治体よりインフラ面で完成度が遅れています。全国に知名度も低いと感じております。「岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会」での事業に期待します。
- (2) ①岩崎家ゆかりの地となっている自治体相互の連携につながる取組は講じられているが、今後は、これらの連携自治体以外にも積極的に発信することにより、施設の認知度を上げ、各自治体の観光振興につなげていくことが望ましい。
- (2) ①市民レベルの行き来に広がりが出ること期待する。
- (2) ①私個人的には効果は薄いと思っているが、いかがでしょうか。
- (2) ①文化的事業なのか経済的事業なのか、バランスを取る必要があると思われるが、同時に極めて難しい課題であると思われます。

## 基本戦略4 受入体制の整備

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
(1) 訪れやすい・歩きやすい環境整備						
①観光拠点の設置	2.73	1	1	4	4	1
②観光案内板・インターネット環境などの整備	2.64	1	1	3	5	1
(2) 観光人材の充実・連携						
①観光人材の発掘・育成	2.91		2	6	3	
②市民・事業者などとの連携	3.27		3	8		
③観光に関わる取組を行う団体に対する支援	3.27	1	2	7	1	

### 基本戦略4 受入体制の整備への意見や改善策

- (1) ①現在のところ、当市における観光拠点は、残念ながら「無」に等しい。今後は商工観光課、企画課、生涯学習課、市観光協会、民間観光業者など、本件の設置に係る機関の早急な討議が急がれる。
- (1) ①バスターミナルを充実し観光拠点まで交通手段の検討は勿論、成田駅や民間ホテルを活用した体制の整備と年間を通しての観光拠点が必要。
- (1) ①30年度時点では、観光拠点の設置には至っていないが、準備会の設置やサウンディング型市場調査の実施など、設置に向けての取組は実施されている。また、インバウンドの取込に向け、事業内容に記載されている公衆無線LANの整備、高速バスターミナルの充実など、インフラ整備がより進むような取組が期待される。
- (1) ①観光ルートを考えながらどこに拠点を置くべきか、駐車場やホテル・旅館、商店街との関連も考えて設置場所を検討していただきたい。
- (1) ①観光拠点は、末廣別邸であるとの認識が、一般の人々には多いのではないかと。末廣別邸が観光拠点であるとの位置付けを行った上での、拠点の設置ではないのだろうか。ラディソンホテル、あるいはベイシア周辺での設置でも良いかもしれないが、核となる観光拠点を明確化できないのは残念である。
- (1) ②市内各所で民間も協力いただき、フリーWifiの環境整備を進める。
- (1) ②30年度の実施内容が補助事業の情報収集にとどまっており、目的や事業内容に記載のある環境整備が（資料上は）進捗していないように思われるため、今後の取組に期待したい。
- (1) ②インバウンド観光客の期待するのであれば、案内板（外国語も含む）の設置、観光拠点における無料Wifi設置の場所を今後検討していただきたい。
- (1) ②インターネット環境の整備は大いに必要であると考えている。案内板は拠点整備の一環で行った方が良いのではないかと。
- (2) ①現在の事業内容に記述されたNPOなどを対象に観光資源に関する知識や接客マナー、簡単な外国語習得など人材の発掘、育成等には同感。早急な対応が望まれる
- (2) ①どの分野を充実させるかで人材の育成を図る。広く浅く出なくこの分野はでどこにも負けない人材を。
- (2) ①30年度の取組が年1回の集客セミナーの開催にとどまっており、事業内容欄に記載されているような、その後の「観光人材」として登録できるような人材の発掘・育成につながっているのか、（資料からは）確認できない。
- (2) ①富里市内の観光ルートの案に関してコンテストを実施してみてもどうか。応募者は少なくとも市内観光に興味を有する人材であり、観光学部等の出身者がいるかもしれない。そうした人材の掘り起こしを提案したい。
- (2) ①是非推進していただきたい。
- (2) ②フィルムコミッションは効果が高く評価されます。
- (2) ②観光協会や商工会、JA、宿泊事業者など、様々な団体と連携して、取り組んでいるほか、市民参加型の取組も行われている。
- (2) ②本件「事業内容」並びに「主な関連事業」に記述された各種取組みに同感。早急な対応が望まれる
- (2) ②是非進めていただきたい。

- (2) ③目的や事業内容に沿った支援が実施されている。
- (2) ③担当機関は常にPDCAの実行を忘れずに適正な支援が実施されることを切望する
- (2) ③観光協会が活躍できる支援と自立できる取組を。
- (2) ③団体を育てて行っていただきたい。